

MLT Advance光電変換ツール

【光電変換対応 MLT Advance構成】

一概要一

■MLT Advance(以下、MLT)と供試品(ECU)間の CXPI通信/CAN通信/LIN通信 を SPDIFケーブルを経由して光信号に変換。

MLTとの通信を電気的にアイソレーションした光電変換対応MLT Advanceシステムを開発。

一特徴一

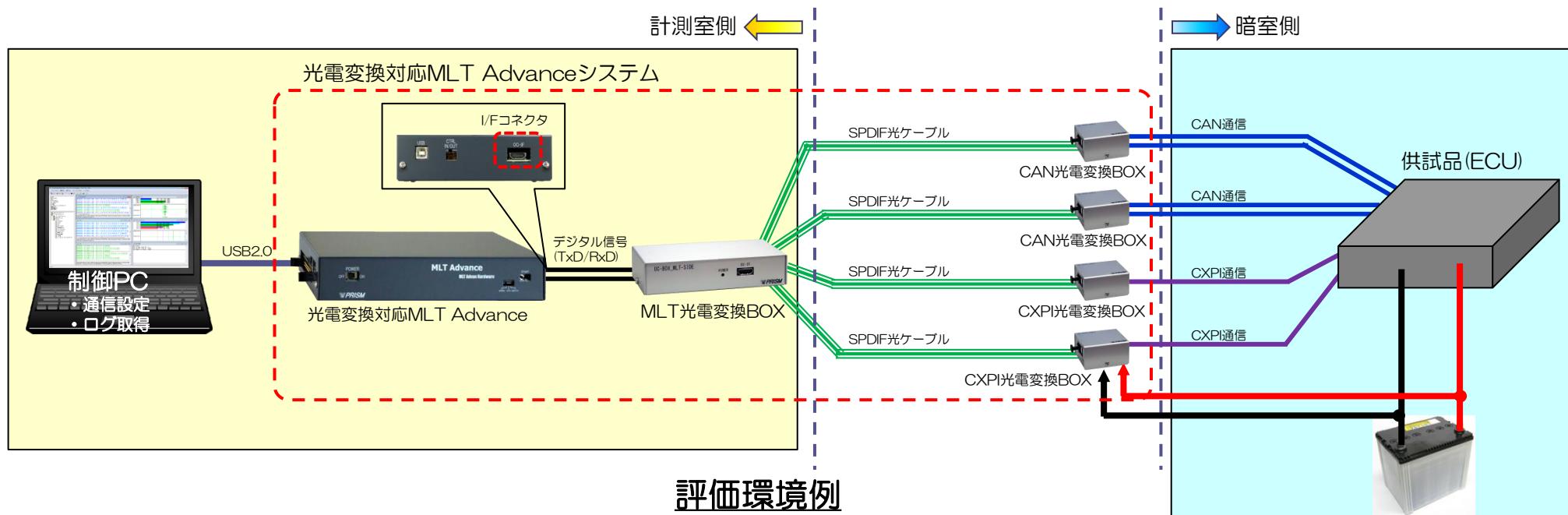
■通信を電気的にアイソレーションすることで、EMI耐性を向上。(※1)

■光信号に変換するため、ケーブルの引き回しによる波形歪、通信ノイズの影響を抑えることが可能。
電波暗室での試験等、離れた場所での評価に使用可能。(※2)

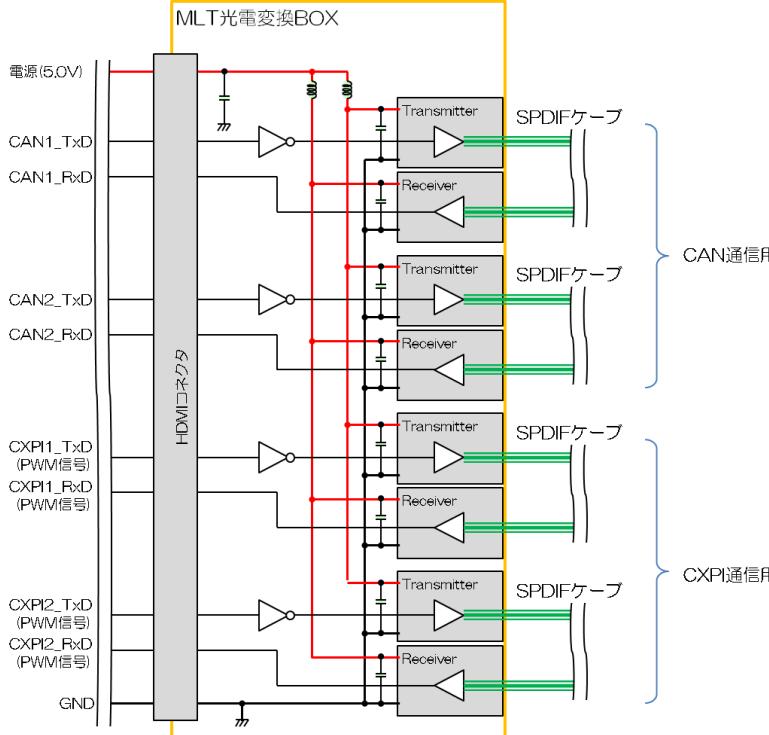
※1 本システムに対するノイズ耐性(ESD/BCI等)については評価しておりません。

※2 本システムからのノイズ(R/N)については評価しておりません。

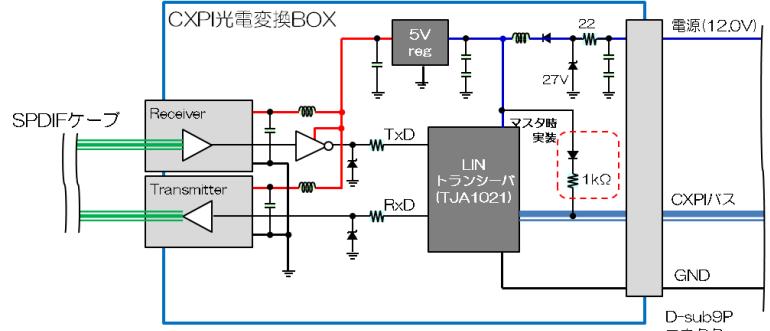
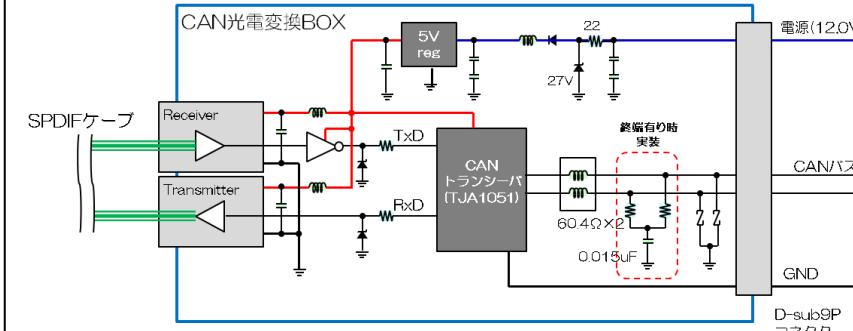
■アイソレーション後の光電変換BOXは供試品側の電源電圧で動作。電源変動等の評価に使用可能。



MLT Advance光電変換ツール

	MLT光電変換BOX(OC-BOX_MLT)		
外観図	外観図	正面図(MLT接続側)	背面図(光電変換側)
	  		
ブロック図	 <p>サイズ : W=140.2mm×D=55.5mm×H=30.1mm(突起部含まず)</p>	<p>構成</p> <ul style="list-style-type: none"> CAN通信(2ch)/CXPI通信(2ch) または CAN通信(2ch)/LIN通信(2ch) に対応 ※出力コネクタは固定 LIN通信とCXPI通信は排他となります BOX電源は、MLT側から供給(5V電源) MLTとの接続は、HDMIコネクタを使用 GNDでシールドすることで、ノイズ耐性向上 MLT/供試品の電源投入順により、 CAN/CXPI/LIN通信バスへドミナントレベルを 出力しない様、送信データにインバート回路を実装 <p>※ ブロック図、はCAN・CXPIモデルとなります。 CAN・LINモデルにおいても構成は同様となります。</p>	

MLT Advance光電変換ツール

	CXPI光電変換BOX(OC-BOX_CXPI)	CAN光電変換BOX(OC-BOX_CAN)
外観図	   <p>外観図 左側面図(光電変換側) 右側面図(CXPI通信側) サイズ : W=55.2mm×D=65.0mm×H=30.1mm(突起部含まず)</p>	   <p>外観図 左側面図(光電変換側) 右側面図(CAN通信側) サイズ : W=55.2mm×D=65.0mm×H=30.1mm(突起部含まず)</p>
ブロック図	 <p>CXPI光電変換BOX SPDIFケーブル Receiver Transmitter LINトランシーバ(TJA1021) CXPIバス GND D-sub9Pコネクタ</p>	 <p>CAN光電変換BOX SPDIFケーブル Receiver Transmitter CANトランシーバ(TJA1051) CANバス GND D-sub9Pコネクタ</p>
構成	<ul style="list-style-type: none"> 動作保証電圧 : DC7.0V~20.0V ※実力はTa=RTにおいて6.0Vまで動作可能 BOX1台で1chのCXPI通信に対応 供試品側とのI/FコネクタはD-sub9ピンを採用 ※MLT側のCXPIコネクタピンアサインと同等 BOXへの電源/GNDは供試品側から供給 供試品の電源電圧に同期して動作 CXPI通信用のトランシーバにLINトランシーバ(TJA1021)を採用 マスタ/スレーブの切り替えは素子実装/未実装で切替 MLT/供試品の電源投入順により、 CXPI通信バスにドミナントレベルを出力しない様 送信データヘインバート回路を実装 	<ul style="list-style-type: none"> 動作保証電圧 : DC7.0V~20.0V ※実力はTa=RTにおいて6.0Vまで動作可能 BOX1台で1chのCAN通信に対応 供試品側とのI/FコネクタはD-sub9ピンを採用 ※MLT側のCANコネクタピンアサインと同等 BOXへの電源/GNDは供試品側から供給 供試品の電源電圧に同期して動作 CAN通信用のトランシーバにTJA1051を採用 CAN終端設定有無の切り替えは素子実装/未実装で切替 MLT/供試品の電源投入順により、 CAN通信バスにドミナントレベルを出力しない様 送信データヘインバート回路を実装

MLT Advance光電変換ツール

	LIN光電変換BOX(OC-BOX_LIN)
外観図	<p>外観図 左側面図(光電変換側) 右側面図(LIN通信側) サイズ : W=55.2mm×D=65.0mm×H=30.1mm(突起部含まず)</p>
ブロック図	
構成	<ul style="list-style-type: none"> 動作保証電圧 : DC7.0V~20.0V ※実力はTa=RTにおいて6.0Vまで動作可能 BOX1台で1chのLIN通信に対応 供試品側とのI/FコネクタはD-sub9pinを採用 ※MLT側のLINコネクタピンアサインと同等 BOXへの電源/GNDは供試品側から供給 供試品の電源電圧に同期して動作 LINトランシーバ(TJA1021)を採用 マスタ/スレーブの切り替えは素子実装/未実装で切替 MLT/供試品の電源投入順により、 LIN通信バスにドミナントレベルを出力しない様 送信データヘインバート回路を実装

MLT Advance光電変換ツール 価格表

品名	対応ch数	価格	備考
OC-BOX_MLT	CAN通信(2ch) LIN通信 or CXPI通信(2ch) ※1	235,000円	HDMIケーブル(1.0m) : 1本 Advance用12V電源ケーブル(2m) : 1本 付属
OC-BOX_CAN ※2	CAN通信(1ch)	155,000円	光ケーブル(10または15m) : 2本 お選びいただけません 電源・通信ケーブル(2m) : 1本 付属
OC-BOX_CXPI ※2 ※3	CXPI通信(1ch)	155,000円	光ケーブル(10または15m) : 2本 お選びいただけません 電源・通信ケーブル(2m) : 1本 付属
OC-BOX_LIN ※2 ※3	LIN通信(1ch)	155,000円	光ケーブル(10または15m) : 2本 お選びいただけません 電源・通信ケーブル(2m) : 1本 付属
OC-FRM_Type-C	CAN通信(2ch) CXPI通信(2ch)	100,000円	光電対応書換ファームウェア
OC-FRM_Type-D	CAN通信(2ch) LIN通信(2ch)	100,000円	光電対応書換ファームウェア
MLT Advance	※4	398,000円～	光電変換対応モデル (MLT Advan model *****-P)

※1 : LIN通信とCXPI通信は排他となります。※2 : 必要なch分ご購入が必要となります。※3 : Master・Slaveどちらかお選びください（設定してお納め致します）

※4 : MLT Advanceカタログをご参照ください。

上記組合せ以外についてはご相談ください。

■お問い合わせ

ご不明な点などございましたら、下記へお問い合わせください。

株式会社プリズム

〒446-0073 愛知県安城市篠目町1-11-15 TEL : 0566-74-4441

担当 : 杉浦久美子 sugiura@prism-arts.co.jp